

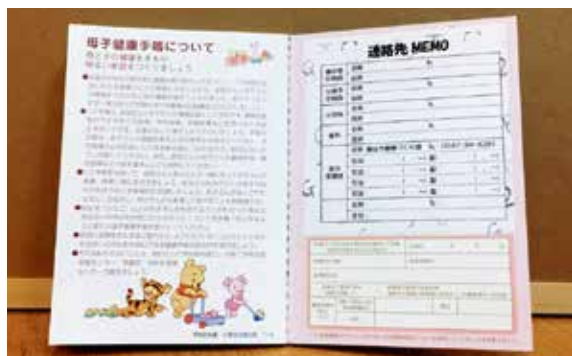
あなたの「子育て」に役立つ情報がいっぱい！
子育て応援サイトQR



家族に寄り添う、切れ目のない支援

「島田市版ネウボラ」が始まりました

健康づくり課 ☎ 34-3281



母子手帳の最後のページに、担当保健師名が入ります

「ネウボラ」とは、フィンランドで100年近く行われていた母子保健システムのことで、フィンランド語で「アドバイスの場」を意味します。フィンランドのネウボラでは、保健師が担当する家族と早期から信頼関係を築くことで、家族の抱える繊細な問題もいち早く発見し、迅速に支援できます。このため、深刻な児童虐待の発生はきわめて少なく、世界的にも高い評価を受けています。

市では、この取り組みのエッセンスを取り入れ、今年度から「島田市版ネウボラ」を開始。顔が見える担当保健師が、妊娠期から子育て世帯に寄り添い、切れ目のない継続的な支援を目指します。

ネウボラとは？



担当の保健師が、きめ細かく育児をサポートします

4月1日から、新たに母子健康手帳を交付した家庭には、担当保健師を配置しています。妊娠から始まり、出産後の赤ちゃん訪問や子どもの健診の相談などを、同じ保健師が継続的に担当します。

こうすることで保健師は、家庭の状況や保護者の考え方、子どもの様子をよく理解した上で対応できるように、家族も気軽に相談しやすくなります。

【困ったときは相談を】
「どこに相談したらいいかわからない」「こんなことでも相談していいか不安」「少し話を聞いてほしい」と思うことでも、お気軽に担当保健師にご相談ください。

市の取り組み



命や子育ての大切さを学びました

中学生赤ちゃんふれあい体験講座を開催

社会教育課 ☎ 36-7963



笑顔で触れ合う生徒と赤ちゃん

今年度も5・6・11月に、金谷・島田第一・初倉中学校の3年生と0歳児の赤ちゃん、その父母との交流会を、各校で開催しました。

この講座は、普段なかなか赤ちゃんに触れ合う機会のない中学生が、生命誕生の神秘や命の尊さ、家族の絆の大切さを感じ取り、自分も大切に育てられてきたことを実感してもらうために実施しています。

今年度は、延べ91組の親子が参加。生徒の質問に答えたり、ミルクの与え方や抱っこのコツを教えてくれたりしました。

【参加した中学生の感想】
● 子育ては大変で、親に感謝したいと思いました。
● お母さんが赤ちゃんを、かわいくてとても大切だと言っていて、自分も大切に育てられていることが分かりました。

子育てをより身近に